

CASBEE 広島 2016年版
新広島ビルディング建設計画

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		基本設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.4	
1 音環境				3.1	0.15	-	-	3.1	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	4.0	-		
1.2 遮音				3.3	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		TLD-50=Dr-40程度		3.0	0.65	5.0	-		
2 界壁遮音性能				4.0	0.35	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	4.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.8	0.35	-	-	2.8	
2.1 室温制御				3.4	0.50	-	-		
1 室温		物販用途: 夏季26℃、冬季22℃		3.1	0.39	3.0	-		
2 外皮性能		硬質ウレタンフォーム、Low-Eガラスの採用		4.9	0.24	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.37	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	4.0	-		
3 光・視環境				3.8	0.25	-	-	3.8	
3.1 昼光利用				3.5	0.33	-	-		
1 昼光率		2~14階事務室2-2.30%		4.0	0.52	3.0	-		
2 方位別開口					-	5.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.48	3.0	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.26	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	4.0	-		
3.3 照度		事務室500lx以上1000lx未満		4.0	0.13	4.0	-		
3.4 照明制御		自動照明制御が出来る		5.0	0.28	3.0	-		
4 空気質環境				4.2	0.25	-	-	4.2	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆認定品又は規制対象外品、及びクロロピリス添加なし		5.0	1.00	4.0	-		
4.2 換気				3.0	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.35	4.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.29	4.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.35	5.0	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		CO ₂ の換算表示が行える		5.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.7	
1 機能性				3.5	0.40	-	-	3.5	
1.1 機能性・使いやすさ				3.5	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.29	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		光ファイバーケーブル配線設置		5.0	0.29	4.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.42	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.7	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		事務所用途: 天井高2.80m、窓設置、物販店舗用途: 4.00m		4.1	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33	-	-		
3 内装計画		建物コンセプト、インテリアパス作成等		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材を採用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30	-	-	3.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた25%迄の耐震性を有する		4.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		換気設備防振吊金具設置		4.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上位3種がB以上、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.5	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高3.90m以上		5.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	事務所用途:0.13		3.9	0.40	4.0	-	
3.2 荷重のゆとり	事務所用途:4900N/m ² 、物販店舗用途:5400N/m ²		5.0	0.30	4.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	周囲の建築物との調和に配慮している		5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	硬質ウレタンフォーム、Low-Eガラスの採用		4.9	0.20	-	-	4.9
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BE][BEIm]: 0.81		2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価			3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	中央監視設備設置		4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	タイルカーペット(床材)、RC-40(路盤材)		4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアの採用		4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用	防水工事のプライマー		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率=85%		3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止	ガス設備設置無し		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			5.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策が「ライン」のチェックリスト過半を満たす、広告物照明無し		5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	